

フレンズジム通信

2017年 10月号

木々の色も変わり始め、秋の訪れも目に見て分かるようになってきました。皆さま体調など崩されていないでしょうか？

今回のフレンズジム通信では、なわとびやとび箱などメイン活動の前後に行う日頃お子さんたちが楽しみにしているプログラムを紹介します。※今回は、放課後等ディサービスでの活動です。

◎磁石付け競争…スタッフがホワイトボードを背負って走り回ります。そこにお子さんたちが手に持った磁石をスタッフの動きを見ながらホワイトボードにくっつけていくゲームです。相手との距離(空間認知)、指先の力加減の練習を目標に取り組んでいます。



◎ ひもよけゲーム…鈴をつけた紐にぶつからないように体を動かし、よけながら前に進むゲームです。目で確認した位置に身体を移動させたり、この紐の間を通ることはできるか考えたり、ゆっくり移動したりとからだ全体を使う活動になっています。空間認知やボディイメージをつける練習のためやっています。

◎ 中当て(転がしドッチボール)…四角いコートの中で、転がってくるボールを目で追い、ボールにあたらないように身体を動かします。ボールだけではなく、友だちにぶつからないよう瞬時に身体をコントロールする力をを養うゲームとなっています。



なわとびやとび箱が苦手なお子さんも「なわとび終わったら中当てだ」と「お楽しみ」があることで、活動に取り組めているようです。これからも、お子さんたちが楽しみながら、様々なからだの機能を高められるようスタッフで考えていきます。またの機会にお子さんたちの“ブーム”な遊びを紹介していきます。

〈参観週間のお知らせ〉

□ 11月に参観時間を設ける予定です。。
日程などの詳細は次号でお知らせします。